

1) 安全で快適に生活できるまちづくり

行政の情報化推進

議会傍聴や申請手続きが、自宅のテレビやパソコンからできるようになるとともに、テレビ電話等により高齢者でも役所に出向くことなく行政の相談ができるようになります。美馬市のホームページも、動画や音声をあしらったりした、ユニバーサルデザイン⁴対応で一層親しみやすく便利になります。公共施設の予約状況の確認や申し込みも、パソコンから簡単に行えるようになります。

消防・防災への活用

メールや一斉放送などにより、災害時の緊急連絡が素早く行えるようになるので安心して暮らせるまちづくりが実現できます。また、Webカメラ⁵を使った遠隔監視カメラによって、危険箇所へ近づくことなく現場の状況を把握し、防災マップ機能⁶によりの確な判断と対応が可能となります。

Webカメラは児童の通学路や学校や幼稚園を見守る手段としても活用できます。



4 ユニバーサルデザイン

年齢や性別、国籍などに関係なく、すべての人が使いやすいように製品やサービス、建物などを設計すること。

5 Webカメラ

インターネットを通じて見たり、操作したりできるカメラのこと。危険箇所の監視カメラや防犯カメラなど用途が広がっている。

6 防災マップ機能

地図情報に、住民や施設の情報を連携させて、災害対策に用いる情報システム。Webカメラの映像と併せて使うと効果的。